

第5学年 国語科学習指導案

児童 男子5名 女子8名 計13名
授業者 菊池信夫

- 1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう(光村図書5年下「大地」p.30～p.44)
- 2 教材名 「ニュース番組作りの現場から」(説明文) 清水 建宇
工夫して発信しよう

3 単元について

(1) 教材について

第5学年及び第6学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」である。また、「書くこと」の目標は、「目的や意図に応じ、考えたことなどを筋道立てて文章に書くことができるようにするとともに、効果的に表現しようとする態度を育てる。」である。本単元で育てたい主となる能力は、「読むこと」の内容の「イ 目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。」「オ 必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫すること。」「ア 目的や意図に応じて自分の考えを効果的に書くこと。」「イ 全体を見通して、書く必要のある事柄を整理すること。」「エ 事象と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。」「話すこと・聞くこと」の内容の「ア 考えたことや自分の意図が分かるように話の組立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。」である。

本単元「目的に応じた伝え方を考えよう」は、説明文「ニュース番組作りの現場から」と、発展教材「工夫して発信しよう」の2教材で構成される情報活用単元である。

第1教材の「ニュース番組作りの現場から」は、新聞記者でありニュース番組のコメンテーターも務めた清水建宇氏による、テレビのニュース番組における特集の製作過程を説明した文章である。第2教材「工夫して発信しよう」で児童自身が特集番組を制作する際の手引きとしての役割を果たす教材である。「話題選び」「会議」「取材」「撮影」「編集」「放送」などニュース番組の特集の製作過程とともに、報道スタッフの工夫や願いが合わせて述べられている。本教材は、特集作りの過程が簡潔に書かれ、時系列に沿って順に配置されている。また、報道スタッフの願いが一本の柱として一貫して述べられているため読み取りやすいものになっている。よって、児童がこれまで学んできたことを生かしながら、特集が作られる過程を自力で読み取っていくのに適した文章であるといえる。しかし、「はじめ(形式段落①)」「なか(形式段落②～⑩)」「まとめ(形式段落⑪)」という、これまで学習してきた説明的文章の基本的な文章構成ではあるが、筆者の主張が述べられている「むすび」が存在しないという特徴もある教材である。

第2教材の「工夫して発信しよう」は、第1教材で学んだことを生かしながら目的に応じて編集し、発信する学習である。本単元では、来年度本校と統合を控えている村内の小学生に向け、本校のことを紹介し知ってもらおうとする特集番組を作ること企画した。まず児童の目的意識を明確にし、自分たちはどういう願いをもって伝えたいのか確認する。グループごとに知らせたいことを分担し、第1単元で学んだことを生かしながら取材やインタビュー、撮影を行う。編集や放送用原稿の書き方にも視聴者に対する願いがこめられていることを確認しながらVTRを完成させる。

このように、第1教材で学んだ情報発信までの過程や願いを生かしながら児童が主体となって学習を進められるように構成された教材である。

(2) 児童について

「読むこと」について、児童は前学年までの説明文の学習を通して、内容の中心をとらえたり、段落相互の関係を考えたりする力を身に付けてきた。また「サクラソウとトラマルハナバチ」の学習を通して、要点をつなげ要約しながら要旨を導き出す学習(大意的要約を通して要旨を導き出す学習)を行った。その結果、

まとまりを意識しながら文章全体を読もうとしたり、筆者の主張を見つけ、表現に気を付けながら要点をまとめたりすることができるようになってきた。しかし、まとめる際に具体を省くことが不十分だったり大事なことが欠けてしまったりする児童も少なくはない。また、筆者の最も伝えたいことを焦点化させ、表現を補いながら要約する学習（要旨的要約）は未習である。

「書くこと」「話すこと」について、児童は前学年までの学習を通して、新聞に見出しをつけたり効果的な表現を考え発信したりするなど、視聴者を意識した書き方や発表の仕方を学んできている。しかし、視聴者が何を知りたいのかということまでは踏み込んでいないため、それを意識して活動できている児童はほとんどいない。

また、毎朝日直がニューススピーチをしているため、児童はニュースに触れる機会が比較的多い。スピーチと同時に、「家族だったら」「自分だったら」などの視点の転換をしてニュースを考えることも続けているため、ニュースについて様々な角度から考えることができるようになってきている。

(3) 指導にあたって

本単元では、ニュース番組における特集作りの過程と報道スタッフの願いを的確に読み取り、そのことを活用しながら効果的に情報を発信できるようにするために、次の2点に留意して学習を進めていく。

1点目は、文章全体を見渡しながらかえる力をつけることである。段落ごとに読むのではなく、文章全体を見渡しながらかえる意識を高めるための、またそのように考える力をつけるための単元計画を組んだ。第1教材は特集を作る過程や願いが時系列に沿って順に配置されているので、ニュース番組作りの過程と報道スタッフの願いを関連させながら読み取っていくようにしたい。

2点目は、既習を生かすことである。第1教材と第2教材を関連付けてから第1教材に向かうことで、読み取る目的が生まれ主体的に学習することができる。第2教材では、第1教材で学んだ既習を生かせるような支援を継続して行いたい。

(4) 本校の研究にかかわって

本校の研究目標は、「確かに読み取る力を育てるために、説明的文章における意図的な書く活動を位置づけた指導の在り方を実践的に明らかにする。」である。

この目標の具現化のために、本単元の学習を通して以下の2点を意識的に行う。

1点目は、1単位時間の中に次のような書く活動を位置づけていくことである。学習課題に対する自分の考えをノートに記述する【書く活動①】。学び合いを通して学習したことを、自分の考えに取り入れながらノートに記述する【書く活動②】。

【書く活動①】は1単位時間の中における一人学びの段階、【書く活動②】は一人学びで考えたことを交流し、友達の良いところを自分の考えに取り入れながら、学習のまとめを書く段階にそれぞれ位置づける。この2つの書く活動を位置づけることによって学びを深め、また児童自身が学び深めたことを実感することができるのではないかと考える。さらに【書く活動②】で書いたものを教師が即時評価することで、児童が自分の考えに対して自信をもったり自己評価したりすることができるようにさせたい。

2点目は、書く活動を行う際に記述条件を設定し、それに合う形で書かせることである。自分の考えを自由に記述するだけではなく、指定された条件に合わせて記述させることで、教科書にある表現を文意に合わせて変換したり言葉を付け足したりすることが必要になる。そうすることで児童はテキストにある表現を多面的に理解しようとし、内容面におけるより深い読みにつながると考える。

4 単元の目標と言語活動

(1) 単元の目標

- ニュース番組の特集ができるまでの過程に興味をもち、伝えたいことを発信する方法について進んで考えようとする。 【関心・意欲・態度】
- 伝えたいことがよく伝わるように、構成を工夫しながら適切な言葉で話すことができる。 【話すこと・聞くこと】
- 疑問に思ったことを調べ、目的や相手を意識し、必要な事柄を効果的に配列しながら書くことができる。 【書くこと】
- 学校紹介の特集番組を作るために、ニュース番組の特集作りの過程と報道スタッフの願いを正確に読み取ることができる。 【読むこと】
- 文章構成に気を付け、効果的な表現をすることができる。 【言語事項】

(2) 本単元を通して行う言語活動

- 自分の課題について調べ、事実や意見を記述した文章を書いたり編集したりすること。 【書くこと】
- 自分の課題を解決するために、解説の文章を利用すること。 【読むこと】

5 単元指導計画(全15時間)

次	時	学 習 活 動	関心 意欲 態度	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	説明文学習を通して 身に付けさせたい力30
1	1	リライト教材を読み文章構成とキーワードをとらえる。 ①リライト教材を音読する。 ②段落ごとのキーワードを抜き出す。 ③文章構成をとらえる。 ④録画された特集を見る。	○			◎	○	15 キーワード 25 文章構成
	2	教材文を読み、学習感想を書く。 ①題名読みをする。 ②全文を音読する。 ③初発の感想を書く。	◎			○		1 題名読み 2 初発感想 3 音読
	3	学習課題を作り、これからの学習の見通しをもつ。 ①今後の学習の見通しを知る。 ②初発の感想をもとに、学習課題を作る。 ③新出漢字を知る。 ④難語句の意味を調べる。				◎		4 学習課題 23 形式段落 24 意味段落 30 文章の種類
2	4	文章構成をとらえ、第1段落の要点をまとめる。 ①文章構成をとらえる。 ②第1段落を読み、提示されている話題の内容をとらえる。				◎	○	4 話題提示 13 事実と意見 15 キーワード 16 キーセンテンス 25 文章構成
	5	ニュース番組作りの過程(形式段落②～⑦)を読み取る。 ①形式段落②～⑦を読み、特集が放送されるまでの過程をとらえる。 ②特集が放送されるまでの過程を、時間の順序に従ってまとめる。				◎	○	15 キーワード 16 キーセンテンス 17 要点

	6	<p>ニュース番組作りの過程（形式段落⑧～⑫）を読み取る。</p> <p>①形式段落⑧～⑫を読み，特集が放送されるまでの過程をとらえる。</p> <p>②特集が放送されるまでの過程を，時間の順序に従ってまとめる。</p>				◎	○	<p>15 キーワード</p> <p>16 キーセンテンス</p> <p>17 要点</p>
	7	<p>ニュース番組作りの過程（形式段落②～⑦）での，報道スタッフが大事にしていることを読み取る。</p> <p>①形式段落②～⑦を読み，ニュース番組作りの過程に沿って大事にしていることをまとめる。</p>				◎	○	<p>15 キーワード</p> <p>16 キーセンテンス</p> <p>17 要点</p>
	8	<p>ニュース番組作りの過程（形式段落⑧～⑪）での，報道スタッフが大事にしていることを読み取る。</p> <p>①形式段落⑧～⑪を読み，ニュース番組作りの過程に沿って大事にしていることをまとめる。</p>				◎	○	<p>15 キーワード</p> <p>16 キーセンテンス</p> <p>17 要点</p>
	9 (本時)	<p>特集番組を作るために，報道スタッフの思いをまとめる。</p> <p>①特集が作られるまでの過程と報道スタッフの思いを振り返る。</p> <p>②報道スタッフの思いをまとめる。</p>				◎	○	<p>15 キーワード</p> <p>16 キーセンテンス</p> <p>21 要旨</p>
3	10	<p>企画会議を開く。</p> <p>①今後の学習の流れを確認する。</p> <p>②グループごとに，何を・どんな方法で伝えるか会議を開く。</p> <p>③取材方法について話し合う。</p>	○	○	◎			
	11	<p>取材をする。</p> <p>①グループごとに取材をする。</p>	○	○	◎			
	12	<p>編集をする。</p> <p>①取材で得た材料を編集する。</p> <p>②放送用原稿を書く。</p>	○	○	◎			
	13 14	<p>リハーサルを行い，撮影をする。</p> <p>①リハーサルを行う。</p> <p>②撮影を行う。</p>	○	◎				
	15	<p>情報を発信する。</p> <p>①グループごとの特集を鑑賞する。</p> <p>②感想を交流する。</p>	○	◎				

6 本時の指導

(1) 目標

特集番組を作るために，報道スタッフの願いを読み取り，まとめることができる。

(2) 本時の評価

評価規準

特集番組を作るために，報道スタッフの願いを読み取り，交流で出された表現を使ったり文中の表現を用いたりしながらまとめている。

Aの状況の具体的姿	Bの状況の具体的姿	Cの状況への手立て
報道スタッフの願いを，自分の言葉や交流で出された言葉を生かしながらまとめている。	報道スタッフの願いを，文中の言葉を用いながらまとめている。	形式段落⑫にある重要語句を確認し，それを用いてまとめさせる。

(3) 展開

過程	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点(※)評価
導 入	1 これまでの学習を振り返る。 2 学習課題を確認する。		※ 掲示物を使いながら単元の中における本時の学習の位置付けと前時までの学習の確認を，児童が主体となって確認する。 ※ 第2教材と本時の学習を関連付け，学習に対する意欲化を図る。
	報道スタッフは，どんな思いでニュース番組を作っているのか考えよう。		
3分	3 本時の学習の見通しをもつ。 (1) 本時の学習の見通しをもつ。		※ 本時の学習で，報道スタッフがどんな思いで特集を作っているのか読み取り，まとめることができたなら目標達成であることを共通理解する。
展 開	4 課題を解決するために読む。 (1) 学習段落(形式段落⑫)を音読する。 ○ 報道スタッフの思いがまとめて書いてあるところはどこですか。	・ 形式段落⑫	※ 報道スタッフの思いがどこに書いてあるのか気を付けながら音読を聞かせる。

展	<p>(2)特集が作られるまでの過程と、報道スタッフの思いを振り返る。</p> <p>○特集が作られるまでの過程を振り返り、その過程にこめられた報道スタッフの思いを振り返りましょう。</p> <p>(3)ニュース番組作りにおける報道スタッフの思いをまとめる。</p> <p>○報道スタッフは、どんな思いをもちながらニュース番組を作っているのでしょうか。【書く活動①】</p>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>報道スタッフは、見ている人に知らせるねうちがあると思うことを選び、また、知って考えてほしいという願いをこめて、<u>ニュース番組を作っている。</u></p> </div>	<p>※掲示物を使いながら、それぞれの製作過程に報道スタッフの思いが込められていることを確認する。</p> <p>※制作過程には、報道スタッフの一貫した思いが込められていることを発見させる。</p> <p>※書く時には、以下の条件に合わせて書くように指示する。</p> <p>①文頭は「報道スタッフは」とする。</p> <p>②文末は「ニュース番組を作っている。」とする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ニュース番組作りの報道スタッフの思いをまとめている。 (ノート、発表)</p> </div>
開	<p>(4)書いたことを全体の場で交流する。</p> <p>○自分の書いたことを交流しましょう。</p> <p>○報道スタッフは、「だれに」、「何を」、「どんな思いをもって」ニュース番組を作っているのだろう。</p> <p>○「ねうちがあること」とはどういうことですか。</p> <p>○「知って考えてほしい」という言葉には、報道スタッフのどんな願いが込められていますか。</p>	<p>「誰に」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視聴者に ・見ている人に <p>「何を」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おどろきや疑問に思ったことを ・知らせるねうちがあるものを ・「どんな思いをもって」 ・知ってほしい、考えてほしいという願いをこめて <ul style="list-style-type: none"> ・自分にとって役に立つこと ・価値があること ・得をすること ・ためになること <ul style="list-style-type: none"> ・ぜひ考えてほしい。 ・多くの人に知ってほしい。 ・この事実についてどう思うか一緒に考えてほしい。 	<p>※聞いている児童は、自分の考えとの類似点、相違点に気を付けながら聞くようにさせる。</p> <p>※驚きや疑問が、番組作りの大事な出発点になっていることを確認する。</p> <p>※「ねうち」「願い」という言葉に込められた意味を考えさせることによって、読み取りをより深いものにした。</p> <p>※「ねうちがあること」とは、自分たちの役に立つということを確認する。</p> <p>※報道スタッフの苦労や願いを基に、「知って考えてほしい」に込められた思いを表現させる。</p>
24分			

<p>終</p> <p>末</p> <p>18分</p>	<p>5 学習のまとめをする。 (1) 交流したことを生かしながら、報道スタッフの思いをまとめる。 ○ 交流したことを生かしながら、報道スタッフがどんな思いをもちながらニュース番組を作っているのかまとめよう。 【書く活動②】</p> <p>(2) まとめを発表する。 ○ ノートに書いたことを発表しましょう。</p> <p>(3) まとめの音読をする。</p> <p>(4) 感想を発表する。</p> <p>6 次時の学習を確認する。</p>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>報道スタッフは、 視聴者におどろいたことや疑問におもったこと、役に立つと思ったことを、ぜひみなさんに考えてほしいという願いをこめて、<u>ニュース番組を作っている。</u></p> </div>	<p>※ 記述条件は、【書く活動①】と同じとする。</p> <p>※ 書き終わった児童の文は、教師がその場で即時評価をする。評価の基準は、①記述条件が満たされているか②「視聴者」「驚きや疑問」「ねうち」「知って考えてほしい」という言葉、もしくはその言葉に近い意味の言葉が入っているかどうかで判断する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>全体交流で学んだことを生かしながら、ニュース番組作りの報道スタッフの思いをまとめている。(ノート、発表)</p> </div> <p>※ 書き終わった児童には感想を書いているよう指示する。</p> <p>※ 自分の言葉や交流で出された言葉を生かしながらまとめている児童や、自分なりの表現で報道スタッフの思いを書き表した児童に発表させる。</p> <p>※ 学習のまとめの発表後に形式段落⑩を音読することによって、筆者の表現のよさに触れられるようにする。</p> <p>※ 筆者が教えてくれたことを生かしながら次時の活動に取り組むことを話す。</p>
------------------------------	---	--	--

(4) 板書計画

ニュース番組作りの現場から 清水 建宇

報道スタッフは、どんな思いでニュース番組を作っているのか考えよう。

報道スタッフは、

ニュース番組を作っている。

だれに

- ・ 見ている人
- ・ 視聴者

何を

- ・ おどろきや疑問に思ったことを
- ・ 知らせるねうちがあるものを

願い v 思い

- ・ 役に立つこと
- ・ 価値があること
- ・ 知ってほしい、考えてほしいという

- ・ 願いを持って
- ・ ぜひ考えてほしい。
- ・ 多くの人に知っていてほしい。
- ・ この事実について、どう思うか一緒に考えてほしい。

報道スタッフは、

ニュース番組を作っている。